

ヒト由来の□異型イソクエン酸デヒドロゲナーゼ1 R132H、組換え品

Cat. No. NATE-1649

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 細胞質IDH 1の□異は、原発性のヒト脳腫瘍において一般的な特徴です。IDHのアルギニン132 (R132) は、異なるアイソフォームの間で高度に保存されており、最も一般的にヒスチジンに□異します。IDH1 R132Hの□異は、R (-) -2-ヒドロキシグルタル酸 (2HG) の蓄積を引き起こし、これは□性脳腫瘍のリスク□加と関連しています。

別名 イソクエン酸脱水素酵素 [NADP] 細胞質□異体、R132H; IDH 1 R132H

製品情報

種	人間
由来	大腸菌
形態	添加物を含む凍結乾燥粉末
製剤化	1mM DTT、10% グリセロールを含む20 mM Tris-HCl バッファー (pH8.0) で。
分子量	50.9 kDa
純度	> SDS-PAGEによる90%
活性	>500 mU/mg
単位定義	1ユニットは、25°CでpH 7.4の条件下で1.0 μmoleのNADPHをNADP+に□換する酵素の量です。

使用法とパッケージング

再構成 30%グリセロール/水中で、2 mg/mlの濃度で凍結乾燥したタンパク質を再懸濁し、その後、将来の用途でさらに希釈します。

保管・発送情報

保存方法 凍結乾燥したタンパク質は、-20°Cで1年間安定しています。再構成した後は、アリコットを-20°Cで保存してください。繰り返しの凍結/解凍サイクルを避けてください。